

# 初心者のための「戦略的カリキュラム」

20ヵ月本科生の各カリキュラムのご紹介  
Wセミナーならインプットのみならず、アウトプットも充実！習得知識の確認も万全です！

## INPUT インプット(講義)

### 講義形式

#### ①基礎講座(主要4科目編)

主要4科目といわれる「民法」、「不動産登記法」、「商法・会社法」、「商業登記法」は司法書士試験全出題数の約8割を占める重要な科目です。Wセミナーではこの4科目について基礎力をしっかりと固めます。試験では基準点をクリアすることが第一条件となるため、出題数の多い科目を丁寧に学習する事で着実に合格に必要な知識を身につけることができます。

▶全90回・3時間／1回

●民法

●不動産登記法

●商法・会社法

●商業登記法

35回  
25回  
16回  
14回

講義の流れ(時間は目安)

●講義60分 ⇒ 休憩5分 ⇒ 講義60分 ⇒ 休憩5分 ⇒ 講義50分

### 講義形式

#### ②基礎講座(マイナー科目編)

合格するためにはマイナー科目もしっかりと学習し、得点源とする必要があります。「民事訴訟法」、「民事執行法」、「民事保全法」、「供託法」の講義は、民法と関連付けることで学習効率を上げます。

▶全31回・3時間／1回

●民事訴訟法

●民事執行法

●民事保全法

●刑法

●供託法

●司法書士法

●憲法

13回  
7回  
5回  
6回

講義の流れ(時間は目安)

●講義60分 ⇒ 休憩5分 ⇒ 講義60分 ⇒ 休憩5分 ⇒ 講義50分

## OUTPUT アウトプット(演習)

### 演習

#### ③ミニテスト

ミニテストは毎回講義で配られる確認テストです。各回講義で前回実施した範囲を中心に基本事項の確認を一問一答形式の問題で確認していきます。自身の理解度を各回講義ごとにチェックし、間違えた箇所はテキストに戻り確認することで、記憶の定着を図ります。

▶121回相当分

●民法

●不動産登記法

●商法・会社法

●商業登記法

●民事訴訟法・民事執行法・民事保全法

●供託法・司法書士法

●刑法

●憲法

講義の流れ(時間は目安)

●毎回講義冒頭5分(初回講義を除く)

### 演習

#### ④トレーニング\*

基礎講座のテキストに連動した一問一答形式・記述式の自宅復習用の問題集です。記憶の定着には講義受講後すぐの復習がとても大切となります。このトレーニングでは一問一答の他に各回の講義の重要ポイントをまとめた「ポイントチェック」を掲載しており、講義内容が一目で分かる上、全ての項目にテキストの該当ページを記載しているので、すぐにテキストに戻って知識を確認することが可能です。知識の定着を図るための最強の復習ツールとして効果を発揮します。

▶121回相当分

●民法

●不動産登記法

●商法・会社法

●商業登記法

●民事訴訟法・民事執行法・民事保全法

●供託法・司法書士法

●刑法

●憲法

学習の流れ

●講義 ⇒ 講義該当部分を解く(復習) ⇒ 次回ミニテストでさらに知識を補充

\*トレーニングは自宅復習用問題集

### 演習▶解説講義

#### ⑤記述式演習講座

基礎講座で学んだ基礎知識を問題演習を通して、記述式試験に対応できる答案作成能力を身につけていきます。解説講義では問題文の読み取り方や解き方、書き方を丁寧に解説します。最初はうまく書けない記述式答案も、この講座を受講すればポイントを掴むことができ、記述式の答案作成能力が飛躍的に向上します。

▶全12回・3時間／1回

記述式:各回2〜3問 ●不動産登記法 6回 ●商業登記法 6回

実施の流れ(時間は目安)

●演習60分 ⇒ 休憩5分 ⇒ 解説60分 ⇒ 休憩5分 ⇒ 解説50分

特典

口述模試

2016年合格目標「20ヵ月総合本科生プラス」「20ヵ月総合本科生」をお申込みの方は2016年合格目標Wセミナー口述模試を無料でご利用いただけます。  
※対象者は2016年度筆記試験合格者となります。

### 演習▶解説講義

#### ⑥基礎演習

基礎演習では、講義の各段階で学習済みの範囲を指定した上で本試験と同形式の多肢択一式の問題を出題し、各学習段階で知識の理解度を確認していただくとともに、解説講義では出題範囲の知識を総整理していきます。択一式の問題演習を通して、学習の各段階での理解度を確認し、理解できていない箇所はテキストに戻って確認する。この作業の繰返しで合格できる知識へと磨き上げていきます。

▶全10回・3時間／1回

●各回 択一式20問

実施の流れ(時間は目安)

●【基礎演習】  
演習60分 ⇒ 休憩5分 ⇒ 解説60分 ⇒ 休憩5分 ⇒ 解説50分

### NEW! 演習▶解説講義

#### ⑦はじめて書く 記述式パターンマスター講座

「記述式って何を書くの?」「記述式ってどう書くの?」その第一歩が当カリキュラムです。記述式学習の基本は「申請パターン＝雛形」をしっかりと学習することです。そのために当カリキュラムでは講義中に実際に手を動かして雛形を書くことに重点を置き、「視覚」「触覚」「聴覚」などさまざまな感覚を使って、雛形を文字通り「体得」します。従来の「守り」から点を稼ぐ「攻め」へと位置づけが変化しつつある「記述式」。早い段階から取り組むことで得点力アップに繋がっていきます。

▶全12回・3時間／1回

●不動産登記法／7回 ●商業登記法／5回

実施の流れ(時間は目安)

●180分 演習実施後、解説講義を行います。

### NEW! テスト▶解説講義

#### ⑧早稲田合格答練 実力診断テスト

本試験と同じ問数・時間で問題を解く、最初の答練です。本試験形式に慣れていたただけでなく、これまで学習してきた知識・解法を試す絶好の機会となりますので、思う存分実力をぶつけてみてください。成績判定も行いますので本格的な答練となるジャンプ答練の前の段階での実力を確認し、直前期の学習の足がかりとなります。

▶全2回・解説講義あり

●第1回 実体法(午前の部)科目 択一式35問 (120分)  
●第2回 手続法(午後の部)科目 択一式35問 + 記述式2問 (180分)

実施の流れ(時間は目安)

●第1回 120分  
●第2回 180分 ⇒ 別途実施の解説講義を受講

### 答練▶解説講義

#### ⑨早稲田合格答練 ジャンプ答練

ジャンプ答練は出題可能性のある論点、推論問題、比較問題などあらゆる問題をバランスよく出題します。記述式も毎回出題し、より本試験に近い状態で知識の確認および時間配分のシミュレーションが可能です。解説講義も各回実施するので、全6回の答練を通して知識をまとめ上げ、レベルアップを図ります。

▶全6回・解説講義あり

●各回 択一式35問、記述式2問

実施の流れ(時間は目安)

●答練奇数回210分・偶数回180分 ⇒ 別途実施の解説講義を受講(午前科目・午後科目により異なる)

### 模試▶解説講義

#### ⑩全国公開模試

本試験と同形式、同時間、同レベルの問題による、全国規模で開催する模擬試験です。Wセミナーの模試は本試験・最新傾向を徹底的に分析し、本試験出題予想論点を含めた全問新作問題を出題します。また、全国版総合成績表、個人別成績表の2つの成績表で科学的に弱点を分析。本試験直前の効率的な学習を可能にします。さらに、「解説講義」を受講すれば、「全国公開模試」を最大限活用できます。

▶全3回・解説講義あり

●各回 午前:択一式35問／午後:択一式35問+記述式2問

実施の流れ(時間は目安)

●模試午前120分+午後180分 ⇒ 別途実施の解説講義を受講

### 講義▶演習▶解説講義

#### ⑪択一予想論点マスター講座

基礎講座をひと通り学習した段階で、合格に必要な不可欠な「択一式」の最終チェックを行う講座です。出題が予想される論点に的を絞り、多肢択一式の演習を通して出題予想論点の総整理、解法テクニックを学習します。さらに復習用として一問一答形式の問題を用意しており、総仕上げを行っていきます。この講座を受講することにより、ジャンプ答練、全国公開模試との相乗効果を促し、合格レベルの知識に仕上げていきます。

▶全10回・3時間／1回

●民法

●不動産登記法

●商法・会社法

●商業登記法

●民事訴訟法・民事執行法・民事保全法

●供託法・司法書士法

●刑法

●憲法

実施の流れ(時間は目安)

●講義 ⇒ 演習 ⇒ 解説